

平成30年6月

## 普及活動報告



出荷規格を確認



今後の栽培管理について説明

### ～実エンドウの出荷始まる～

#### 出荷目合わせ会を開催

(京丹波町：1日)

実エンドウの出荷開始にあたり、実物を目の前にして出荷規格の確認を行いました。普及センターからは、高品質な実えんどうの出荷量確保のための追肥や圃場の水分管理を呼びかけました。また、発生が目立つヨトウムシ類や灰色かび病の防除対策について説明を行いました。

生産者からは、「今年は獣害に遭わないように柵を強化した」「灰色かび病の見分け方と、おすすめの農薬を教えてください」などの声がありました。今後も普及センターは、高品質の実エンドウ生産のための支援を行っていきます。

場 所 JA京都瑞穂支店

出席者数 12名

瑞穂地区実エンドウ生産者10名（平成29年は生産者9名、出荷量約2トン）

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

## 普及活動報告

### ～黒大豆部会で和知の黒大豆を盛り上げる～ 黒大豆栽培研修会

(京丹波町：5日)

黒大豆部会総会の後、普及センターから、平成29年の黒大豆栽培期間の気象の推移と特徴を振り返るとともに、本年のは種におけるポイントと普及センター等で実証を行う試験計画について説明しました。

黒大豆栽培においては、初期生育が順調であることが収量の向上に重要であり、生産者からは「自分のは種方法に問題があれば教えてほしい」等の積極的な質問がありました。今後も普及センターは、生産者の技術支援と黒大豆栽培面積拡大に向けた啓発を行っていきます。



黒大豆栽培研修会の様子

場 所 JA京都和知支店  
出席者数 15名

平成29年 京丹波町黒大豆栽培面積60.9ha

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

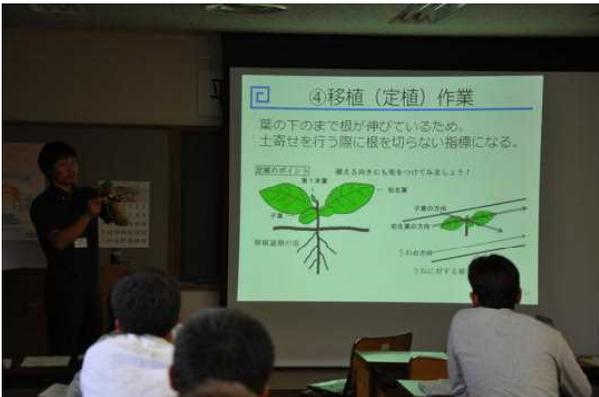
## 普及活動報告

### 第2回京都丹波就農サポート講座を開催 (全域：12日)



今回は、農林センター園芸部の研究員から夏野菜（露地・施設栽培）について、普及センター職員から黒大豆および黒大豆枝豆の栽培技術の要点や注意点について説明しました。

受講生からは「これから野菜づくりをしていくのに大変参考になった」「黒大豆の栽培に関心を持った」等、今後の取組への強い意欲が感じられました。普及センターは引き続き、現地視察や実習等を含め、講座による支援を行います。



黒大豆の苗（現物）を用いた講義

場 所 園部総合庁舎  
出席者数 38名

受講生は21歳～68歳（平均年齢40歳）の30名。南丹管内の実践農場研修生、就農間もない農業者及び障害者就労支援事業所の職員が参加

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

## 普及活動報告



収穫適期の確認

(上：南丹市園部町、下：南丹市八木町)

### ～小麦新品種「せときらら」の収穫時期を迎えて～ 適期収穫に向けた現地巡回を実施

(亀岡市・南丹市：12～14日)

小麦の収穫は、適期より早いと水分過多で乾燥時間が長くなりすぎ、遅いと「発芽粒」や「退色粒」などが発生し、品質が低下します。また、梅雨期に当たることから、天候を見極めた収穫時期の設定が重要になります。このため、各生産組合のほ場を巡回し、収穫開始時期の確認を行いました。

それぞれのほ場で、およその水分含有率を見ながら収穫開始時期を決めました。参加者からは「オペレーターの動員計画を考えないといけない」など、適期収穫に向けて準備を進める声が出ていました。

場 所 亀岡市河原林町、  
南丹市園部町・美山町・  
八木町

出席者数 15名

管内の平成30年産小麦栽培面積は約38ha

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

## 普及活動報告



小豆の栽培管理について説明



現地ほ場で生育状況を確認

### ～生産者の疑問を解消～

### 京丹波町瑞穂であぜみち相談会を開催

(京丹波町：20・21・26日)

京丹波町瑞穂技術者会議のメンバーで各集落を回り、水稻、小豆をはじめとした作物の安定生産に向けて、あぜみち相談会を開催しました。JAからは水稻について、普及センターからは小豆について、適期は種のためのほ場の排水性向上を中心とした管理のポイントを説明しました。質疑応答の後、希望者の水稻ほ場で、生育状況に応じた中干しや雑草管理について指導を行いました。

「雑草のクログワイの発生が多くて困っている。対策を教えてほしい」「小豆の早まきや摘心の方法は」などの質問が出されました。普及センターは、今後も関係機関とともに、安定生産に向け支援します。

場 所 瑞穂地区16集落

出席者数 133名

和知地区では6/11～15、丹波地区では6/26～28に開催

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

## 普及活動報告

### 農業会議現地推進役と情報交換を行いました ～南丹ブロック現地推進役会議に参加～

(全域：25日)



農業会議の現地推進役が6月から配置されたのを受け、個々の情報を集約・共有する目的で月1回会合が行われることとなり、推進役それぞれの活動状況や農地中間管理事業の進捗状況等が報告されました。

これまでから、例えば担い手養成実践農場の設置等の事業は、普及センターと農業総合支援センターが連携し関係機関とともに推進してきましたが、現地推進役が配置されたことで、よりタイムリーに情報交換ができ、円滑な事業推進が可能になります。

組織改編直後、また新たな任務が加わり、まだ手探りの感はありますが、効果的な活動ができるよう普及センターも連携を強化していきます。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 6名

京都府南丹農業改良普及センター

平成30年6月

## 普及活動報告

### 亀岡市特産「賀茂なす」の品質上々 ～ブランド出荷始まる～

(亀岡市：25・26日)



出荷規格を部会員皆で確認

出荷の足並みが揃った25日、ブランド出荷に係る規格の目合わせを行い、普及センターから、大雨時の排水対策や病害虫防除について説明しました。翌日は市場に出向き、他産地からの出荷量や品質を確認しました。

初日の出荷量は54ケースと、昨年よりやや少なくなりました。今後、日増しに出荷量が多くなる見込みです。部会では消費拡大に向けた販売促進活動などに取り組まれます。

場 所 JA京都亀岡中部支店  
京都市中央卸売市場

出席者数 36名



色つやの良い亀岡のブランド品（秀L）

平成29年度 面積161.5a、生産者数21戸  
平成30年度 面積160.2a、生産者数20戸

京都府南丹農業改良普及センター